

科容敬と婚せん爲江戸に赴いたのに隨行した記事である。著者は醫師で、漢文を以て記し、作詩をも交へてゐる。

ズイゲンジ 瑞源寺 鳳至郡穴水川島に在つて、曹洞宗に屬し、洞乘山と號する。初め能登の豪族長氏は歴世眞言宗を奉じ、來迎寺を菩提所としたが、後總持寺中如意庵の實峰良秀に歸依して禪に轉じ、文明十六年鳳至郡荒屋村の北にあつた菅谷觀音寺といふ眞言寺院を改めて瑞源寺と稱し、之を穴水川島に轉ぜしめて龍門紹童を開山に置き、以て歴世の菩提所たらしめた。能登名跡志に『瑞源寺とて禪院あり。長氏より寺領五十石寄附あり。長家代々の菩提所にして、大寺なり。』と記する。

ズイコウ 瑞晃 ↓ドウヒズイコウ 道費 瑞晃。

ズイコウイン 瑞香院 加賀藩主第十二代前田齊廣の女直姫の法號。詳しくは藥香院文彙慧玉大姊。

ズイコウイン 瑞光院 大聖寺藩主第三代前田利直の女で、上野館林侯松平清行の夫人になつた須知姫の法號。詳しくは瑞光院妙照日仁大姊。

ズイコウジ 瑞光寺 金澤上本多町に在つて、江西山と號し、臨濟宗に屬する。開山は愚溪和尚、開基檀越は才道仁・伊藤元祖外記で、寛永九年本多安房守を以て前田利常に請ひ、寺地を新堅町に得たが、後慶安三年今の所に轉じた。當寺の觀音は、國運寺の觀音といひ、靈佛と稱せられる。國運寺は瑞光寺の本寺で、卯辰山感應寺の南谷に在つたが、多年無住に付き、寺院を破却して瑞光寺に合併

したものである。

ズイシヨウ 水晶 能美郡游泉寺産の水晶は、第三紀なる石英粗面岩質凝灰岩にある銅鑛脈に存するもので、無色・乳白色・紫色の各種がある。その他同郡尾小屋・石川郡倉谷等の銅山からも、その石英鑛脈中に美麗なる水晶を出す、紫色なるは發見し得ぬ。

ズイジヨウ 翠丈 ↓ムラタズイジヨウ 村田翠丈。

ズイシヨウジ 隨照寺 鳳至郡下唐川に在つて、眞宗東派に屬する。明治十三年八月寺號の公稱を許された。

ズイシヨウダニ 水晶谷 石川郡千丈、平西方の溪谷で、その水清水谷のそれと合し、雄谷となつて尾添川に注ぐ。

ズイセイカンソク 彗星觀測 加賀藩では文化四年パリシ彗星の出現した時、河野通義が之を觀測して、軌道の圖面を製したのを初とするであらう。次いで八年フ라우ゲルキユウス彗星の見えた時も通義が之を觀測し、又文政八年秋ボンス彗星の場合には、遠藤高景の自邸に觀測臺を設け、子高朗・西行篤行・河野通義が測器の分擔を定め、八月廿三日から九月七日までの觀測を星圖に記入して軌道を示した。その器械は垂搖球儀(時計)・子午儀及び象限儀であつた。

ズイセキテイ 水石亭 金澤吹上(今長良町)に在つた人持組津田氏の別荘。龜尾記にいふ。この別荘はもと大乗寺の弟子尼の隱居所で、をとめ亭といつたが、文政中津田兵庫所久の別荘として茶亭を建てた。嘗て大窪詩佛の來寓した時、その風景の絶佳なるを賞し、水石亭と名づけたと。

ズイセンジ 瑞泉寺 金澤五十人町に在つて、眞宗東派に屬する。寺記に、初め永正元年了祐、石川郡押野村に創立、上宮寺と稱したが、慶長八年金澤片町に轉じ、寛永十年越中井波瑞泉寺玄良の二子宣心がその住持となつて、寺號を瑞泉寺と改め、後更に寺地を今の所に移したと。宣心萬治二年八月寂、第二代宣祐は他姓から入つて統を承けた。

ズイセンジシン 瑞泉寺支院 金澤大衆免井波町に在つて、眞宗東派に屬する。越中井波瑞泉寺の旅屋であつたのを、明治廿二年支院と改稱した。

ズイタイ 翠臺 ↓チヨウスイタイ 趙翠臺。

ズイテイ 瑞貞 ↓イチタクズイテイ 以竹瑞貞。

ズイテングウ 水天宮 金澤の大小島小助といふ者水天宮を崇敬し、天和二年二月十五日久留米の本社から分靈を得て己が邸内に勧請した。その後高要助の時、明治十五年彦三六番丁に移轉して假殿を建築したが、今は無い。

ズイトウベツシ 垂統別史 ↓ハンソッセイレッキ 藩祖盛烈記。

ズイトウベツシコウキヨ 垂統別史考據 一冊。天保十三年六月西坂衷著。著者は先に垂統別史を著したが、本書に於いてその本文の典故を明らかにし、又別に異説あるものを擧げたのである。故に本書では、考據と考異とが並べ擧げられてゐる。

ズイネン 隨念 珠洲郡南方の内の小字。

ズイフギユウツカ 水府義勇塚 ↓ミトロウシ 水戸浪士(七、松原神社)。

ズイホウザン 瑞鳳山 鳳至郡中居の東北で、中居六所明神の末社瑞鳳宮がある。この社は貞享二年由來書にも載せられて居る。能登名跡志に『後鳥羽院の御宇に、初めて繪旨下りし時拜戴せし地を瑞鳳山とて、則後鳥羽院の御像を祭り、繪旨下りし日三月廿一日を毎年祭禮とする也。此の瑞鳳山は風景の名山也。』とある。

ズイモンガケ 水門崖 鳳至郡時國なる曾々木の海岸にあつて、一名を穴釜と呼ばれる。流紋岩から成る斷崖で、その麓に洞穴がある。

ズイモンヤマ 水門山 鳳至郡是清の部落から東方に在る山。高さ二一三米。地質第三紀系。

ズイヨウイン 瑞陽院 加賀藩主五代前田綱紀の子專姫の法號。詳しくは瑞陽院春榮完光童女。

ズイヨウジ 隨用寺 鹿島郡金丸に在つて、眞宗東派に屬する。

ズイリュウイン 瑞龍院 加賀藩主第二代前田利長の法號。詳しくは瑞龍院聖山英賢大居士。

ズイリュウカクキ 瑞龍閣記 一冊。富田景周著。委しくは越中高岡山瑞龍閣記と題し、越中高岡なる瑞龍寺の由來を漢文で書いたものである。寛政十一年五月之を同寺に納めた。

ズイリュウコウゴネンビヨウ 瑞龍公御年表 二冊。有澤貞府の撰。前田利長の年表である。

ズイリュウコウテンリヤク 瑞龍公傳略 一冊。享和元年富田景周が、越中瑞龍寺活灌